

視察研修報告

9月26日から10月24日までの間に、3つの常任委員会と議会運営委員会と議会だより編集委員会が視察研修を行いました。各研修内容をご報告します。

議会だより編集委員会

我々、議会だより編集委員会では、日帰りで、ウルトラマンの生みの親でもある円谷英二監督の出身地の福島県須賀川市で視察研修を行いました。

当市議会では議会改革特別委員会において議会だより編集委員会を常任委員会化することを決定したため、既に議会広報常任委員会を設置している須賀川市を訪れ、常任委員会設置までの取組と議会広報常任委員会の活動状況についての調査を行いました。今回の調査を生かして、議会だより編集委員会の常任委員会化を目指します。

10月12日
福島県須賀川市



須賀川市役所庁舎東側入口付近にあるウルトラの父のモニュメントで記念撮影



① 9月26日
福島県白河市



② 9月27日
福島県喜多方市



③ 9月28日
福島県田村市



文教厚生委員会

- ① 白河市 図書館の運営
 - ▽まちづくりの交流拠点として市街地への回遊を誘導する施設
 - ▽市内4図書館のネットワークが構築されているため、どこでも貸出返却が可能
 - ▽市内小学校すべてに学校司書を配置し学校に對して幅広く支援
- ② 喜多方市 小学校農業科
 - ▽食農教育を課程に位置づけ「総合的な学習の時間」を利用し、市の基幹産業である農業と融合を図っている。
 - ▽農業を通じて「いのち・共生と思いやり・環境・耐性・判断力」を学べる教育的効果
- ③ 田村市 廃校を活用したテレワーク拠点
 - ▽「ふるさとテレワーク事業」の認可を取得し、廃校になった小学校を改修後テレワークセンターとして活用
 - ▽運営主体を若手地元出身者とする事で地域に密着しやすい運営が可能
 - ▽オフィスパースの提供や事業サポートにより雇用の創出や企業支援が図れる。

視察を終えて

今回は「教育に関する事項」について視察を行った。白河市立図書館では学校支援に力を入れていたこと、喜多方市の取り組みでは普通授業では得られない教育効果が表れることが印象的だった。田村市のテレワーク事業についても興味深い話を聞くことができた。いずれも少子化問題を抱える自治体であったが、地域の特色を生かした独自の政策であり、大変参考になった。

Q 視察研修とは？

A 他の自治体等の先進的な取組について現地に赴いて直接調査すること